

第 47 回関東ブロック P T A 研究大会横浜大会報告書

富士市 P T A 連絡協議会

会 長 齋藤 直樹

第 47 回関東ブロック P T A 研究大会横浜大会が 10 月 24 日～25 日横浜市内で開催された。第 1 日目は 6 つの分科会を開催。関東甲信越、静岡の 10 県から 2000 人が会し議論を繰り広げた。25 日は全大会と記念講演が行われた。

大会は、「子どもの生きる力【知・徳・体・公・開】思いをつなぐ教育文明開化～子どもたちと見すえる未来への船出～」をスローガンに掲げていた。

6 会場で行われた分科会は、「生きる力」「学力」「心」「体」「公共心と社会参画」

「国際社会への寄与」とそれぞれの研究テーマに沿って事例発表、講演や講座パネルディスカッションを行い、P T A 活動を進めて行く上での課題について話し合った。私が出席した第 1 分科会では「生きる力」。豊かな体験が「生きる力を育む！～体験活動で伸びる思考・判断・表現力～」をテーマに東京海洋大学客員教授でウエカツ水産代表の上田勝彦さんの講演を聞かせて頂いた。すべて親が与える物ではなく、いろいろな体験をしなくては「生きる力」は身に付かない、危険は教えるが、体験は子ども自身が味わい、考え、悩み、身に付いていくものだと語っていた。パネルディスカッションではアウトドア流防災ガイドあんどうりす氏、自然体験教育コーディネーター山田洋治氏を交えてのディスカッションであった。第 2 日目はパシフィコ横浜国立大ホールで全大会が開催された。各分科会の報告後、「大人自身が学び、成長するための P T A 活動推進」「大人の信頼関係、ネットワークの構築」「相手を思いやることのできる関係の育成」などを柱とする大会宣言が採択された。続いてキャリア教育をテーマに大学の客員教授などとしても活躍する歌手・女優の菊池桃子氏の記念講演が行われた。今回の研究大会で得たものを今後の富士市 P T A 連絡協議会で活かして行く所存です。

以上